

舞鶴市議会 活動報告

- 「公共交通」に関する議員研修会
(令和4年5月20日開催)

舞鶴市議会 議員研修会（公共交通）

実施日：令和4年5月20日

議長挨拶

【講義テーマ】「地域公共交通における
地方自治体の役割と期待」

【研修目的】舞鶴市では公共交通の維持に対する課題に取り組んでおり、公共交通に関する理解を深め今後の議会活動に生かすため研修するもの

【講師】龍谷大学教授 井上 学 氏

*専門分野は、交通地理学・GIS・観光学



井上先生による研修会

【講義内容】

- ◎地域公共交通の担い手の変化：過去の民間事業者の廃止から公的へ
住民ニーズは「利用しないけれどバスがほしい」
- ◎公共交通の特徴：予算の制約で供給には限度が生じる
- ◎公平と公正：公平は全員に均等に配分、公正はより望む人に多く配分
- ◎先進事例に対する誤解：成功事例はそのまま導入しても成功しない
- ◎公共交通に対する誤解：クルマに近いサービスは当人の健康に悪影響
- ◎地域公共交通会議・法定協議会：地域全体の公共交通を考える政策の時代
- ◎コロナ禍における公共交通の現状：多くの地域で路線の廃止が想定

舞鶴市議会 議員研修会（公共交通）

実施日：令和4年5月20日

先進事例をもとに講演

◎地域交通の維持に向けた考え方：7つの考え方(ポイント)

1. **クルマ利用を中心として安全運転に努める**：人口減地域はクルマ型事業の展開
2. **補助金による路線の維持**：地域を支えるための支出 クロスセクター効果の検討
3. **利用補助による迂回支援**：学割定期や無料デー等利用者の増加が見込まれる
4. **クルマを利用しつつ公共交通のメリットを啓発**：「過度にクルマに依存しない」
5. **現在の利用者の満足度を上げる**：未利用者でなく既存利用者の困りごとを解決
6. **まちづくりを再検討する**：地方自治体が地域をマネジメント
7. **地方の声を中央に届ける**：行政も議会も中央にしっかりと声を上げる事が重要



質疑応答も実施



【研修後の所感】

- ◎ **公共交通は利用しないから維持ができず、地域住民に一定の役割と責任を持っていただく必要があると感じた。**
- ◎ **「車がなかったら議員活動できない」と思い込んでる自分に気付いた。**
- ◎ **公共交通の課題でも「地方の声を中央に届ける」ことが重要と感じた。**
- ◎ **地域の実情に沿った公共交通政策を、まちづくり政策の中で検討すべき。**
- ◎ **利用補助による迂回支援の有効性や必要性を感じ得た。**